

平石地域データブック

平成26年11月

宇都宮市立図書館作成

目次

1 歴史	・・・	P 1
2 町名	・・・	P 2
3 自然		
(1) 地形	・・・	P 3
(2) 河川	・・・	P 4
(3) 沼沢	・・・	P 4
(4) 名木	・・・	P 4
(5) 動植物	・・・	P 5
4 主要施設		
(1) 行政機関	・・・	P 5
(2) 教育施設	・・・	P10
(3) 医療機関	・・・	P12
(4) 社会福祉施設	・・・	P13
(5) 金融機関	・・・	P15
(6) 体育施設	・・・	P16
5 まつり・行事	・・・	P17
6 文化財	・・・	P19
7 産業	・・・	P19
8 交通	・・・	P22

1 歴史

西暦	年号	できごと
1209年	承元 3年 弘安年間	宇都宮朝綱の家臣，鈴木八郎重行（重定）が平出城を築いたといわれる。 宇都宮頼業の子孫，出羽守時業の次男横田五郎左衛門業澄が石井城を築き，石井氏を名乗る。
～1615年	元和以前	石井河岸の開設。宇都宮藩領の江戸廻米の積出河岸として栄える。
1723年	享保 8年	五十里洪水。鬼怒川上流で堰き止められていた五十里沼が決壊し，流域で多くの家屋が流出し，田畑も荒廃した。
1764年	明和 元年	（一説には宝暦3年）舩摺騒動が起こる。上平出村の太郎兵衛（水沼亀右衛門）を含む代表者らは捕えられ，引き廻しの上，処刑された。
1871年	明治 4年	栃木県で最初の器械製糸場・大嶮商舎（石井製糸場）が川村迂叟によって設置される。
1889年	明治22年	平出村，石井村，小原新田村，柳田村，峯村，上越戸新田村，下平出村の七か村が合併し，平石村となる。石井に役場が置かれた。
1890年	明治23年	コレラが流行する。
1902年	明治35年	鬼怒川の大洪水。流れ着いた流木が5年間積み上がっていたといわれ，流出した日光の神橋の橋材も多く拾われた。樹齢一千年といわれた石井の箒木松も倒れた。
1909年	明治42年	上越戸新田の亀井為三郎が，官有地にされた自己の所有地を裁判によって取り戻す。 大嶮商舎がほぼ全焼，女工たちにも死傷者が出る。
1915年	大正 4年	鬼怒川堤防（旧）が完成する。 鬼怒川を渡る鬼怒橋が竣工する。約560メートルの木橋。
1923年	大正11年	峯に宇都宮高等農林学校（のちの宇都宮大学）が設置される。

1929年	昭和4年	鬼怒橋が鉄橋となる。
1933年	昭和8年	鬼怒川堤防（新）が完成する。
1937年	昭和12年	平出にじんかい処理場が建設される。
1938年	昭和13年	上平出に汚物焼却場が建設される。
1950年	昭和25年	平石公民館が設置される。
1951年	昭和26年	上平出の一部が豊郷村に編入される。
1954年	昭和29年	宇都宮市に編入合併する。 村役場が支所となる。 市立平石公民館が設置される。
1957年	昭和32年	機構改革により支所が出張所となる。
1959年	昭和34年	農産物の促成栽培が普及し、出荷組合の結成、京浜市場出荷が始まる。
1961年	昭和36年	宇都宮工業団地（平出）の企業誘致が始まる。
2002年	平成14年	公民館を廃止し、生涯学習センターに名称変更 平石地区市民センター設置（出張所と公民館の複合化）

※参考資料 『市政概要 平成25年度版』宇都宮市議会事務局 2013年

『事務概要 平成26年度』

宇都宮市教育委員会生涯学習課 2014年

『栃木県町村合併誌』第2巻 栃木県 1955年

『栃木県町村合併誌』第3巻上 栃木県 1956年

『宇都宮郷土史』1996年

『平石村郷土史』平石村 1956年

『宇都宮市史』宇都宮市 1981年

『角川日本地名大辞典9 栃木県』角川書店 1984年

2 町 名

町 名	由 来 等
しもひらいでまち 下平出町	鬼怒川右岸の河岸段丘上に位置する。 地名の由来は、鬼怒川河川敷の西に続く低平地であることによるか。 下平出郷は戦国期に見える郷名である。 下平出村は江戸期から明治22年までの村名である。 延宝6年に新田畑改めが実施され、下平出の枝郷として小原新田が成立した。

	<p>明治4年の廃藩置県による宇都宮県を経て、明治6年宇都宮県の廃止により栃木県に所属、明治22年の町村制実施により平石村の大字名となる。その後、昭和29年の宇都宮市との合併により現在の町名となる。</p>
<p>ひらいでまち 平出町</p>	<p>鬼怒川右岸の河岸段丘上に位置する。</p> <p>地名の由来は、鬼怒川河川敷の西に続く低平地であることによるか。平出は室町期から見える地名である。中世には上・中・下の区分を付して見える。</p> <p>平出町は、もとは、平石村上平出と同村下平出の一部である。上平出村と下平出村は、江戸期から明治22年までの村名である。中平出村は現在の平出町と下平出町の間接地帯を指したものであると思われるが、詳細は不明。</p> <p>明治4年の廃藩置県による宇都宮県を経て、明治6年宇都宮県の廃止により栃木県に所属、明治22年の町村制実施により、平石村の大字名となる。その後、昭和29年の宇都宮市との合併により現在の町名となる。</p> <p>昭和35年から地区の西部で工業団地の造成が開始され、昭和43年に一部が平出工業団地、御幸本町、上野町となる。</p>
<p>やなぎたまち 柳田町</p>	<p>鬼怒川中流右岸の低湿地に位置する。</p> <p>明治9年に柳原新田から改称して成立した。</p> <p>柳原新田は、江戸期から明治9年までの村名である。</p> <p>明治4年の廃藩置県による宇都宮県を経て、明治6年宇都宮県の廃止により栃木県に所属、明治9年に柳田村と改称する。明治22年の町村制実施により平石村の大字名となり、昭和29年の宇都宮市との合併により現在の町名となる。</p>

- ※ 参考資料 『角川日本地名大事典9 栃木県』角川書店 1984年
『栃木県市町村誌』栃木県町村会 1955年
『栃木県の地名』平凡社 1988年
『宇都宮市六十周年誌』宇都宮市 1960年

3 自然

(1) 地形

- ・鬼怒川低地の中で、主に河道の西側の絹島段丘が主となる地域であり、ロームは少ない。
- ・西高東低で、西部は丘帯であり山林及び畑にして、国県道から村道に沿いに人家があり、特に石井岡台などは日本製鋼が出来てから社宅商店等がに

わかに進出し、市街の様な繁華となった。また東部の低い所は、鬼怒川を始め逆木九郷半および石井革用水は北から南へ貫流し、肥沃な水田地帯となっている。

(出典：『平石村郷土史』平石村 1956年)

- ・平出神社の西の洪積層土はゆるい波状地形となって、旧市内まで広がり、北から南に流れる谷地をはさんで三節走っている。谷地は水田として耕作されていた。「平出の田んぼを守る会」も結成されている。

(2) 河川

- ・平出町を流れる鬼怒川の支流で越戸川に合流する「山下川」(総延長4・5キロ)がある。平成23年5月に地元住民らがつくった「平石地区山下川河川愛護会」は、市が平成23年10月から散歩道整備を進める中、散歩道にスイセンやヒガンバナの球根を植えるなどの活動を本格化させている。
- ・市が整備した山下川遊歩道に、「平石地区山下川河川愛護会」などが植栽や散策コース作りを進め、「ひらりの里あさひが丘」と命名した公園を整備した。山下川と平石地区を一望できる景観となっている。
- ・平出工業団地東側の低地を流下し越戸川に合流する山下川は、集中豪雨時には浸水被害がたびたび生じたため、平成5年に準用河川に指定され改修される予定であったが、圃場整備事業がこれに先行して実施され現在に至っている。そのため、河川改修が実施されなかったことがある意味では幸いし、今も昔の面影を色濃く残し、年間を通して西鬼怒川からの清流が流れているためカワセミが生息するなど、地域の貴重な自然環境を形成し、近隣住民の憩いの場所となっている

(3) 沼沢

平出神社に近い谷地を「沢っぼ」と呼び、谷地には湧水を溜めた大小さまざまな沼があった。

(出典：『とちぎの自然 ふるさとの記録』栃木県林務観光部 1982年)

(4) 名木

- ・平出神社のカシ(平出町3848)
平出神社(雷電神社)本殿東側にそびえるカシ。
- ・広琳寺のシダレザクラ(平出町1673)
樹齢250年で、市指定の天然記念物。高さ約12メートル、目通り周囲2メートルで、4本の枝にわかれており、樹冠が傘形で枝ぶりが見事。

- ・平出町のサイカチ（平出町2088）
桑久保宅の門の両側のサイカチで、堂々たる巨樹。
- ・平出神社のスギ（平出町3848）
神社の参道わきのスギの古木で、大老杉と呼ばれている。

（５） 動植物

柳田緑地では、クロコムラサキ（タテハチョウ科）の生息地が、昭和48年に市指定の天然記念物となった。全国的にも生息範囲が限られており、幼虫の食料となるヤナギが多いほか、越冬地としての条件が整っていると考えられる。その他、下記のような動植物が確認された。

- ・ハヤブサ， コアジサシ（鳥類）
- ・ニホンアカガエル， トウキョウアマガエル， ツチガエル（両生類）
- ・ニホンカナヘビ， シマヘビ， ヒバカリ（爬虫類）
- ・ツマグロキチョウ， ギンイチモンジセセリ， オオチャバネセセリ， ハガタウスキョトウ（昆虫）
- ・カワラニガナ， スブタ， ヒメコヌカグサ（植物）

- ※参考資料『宇都宮市史』 宇都宮市 1981年
『とちぎの自然 ふるさとの記録』 栃木県林務観光部 1982年
『宇都宮の名木』 宇都宮市 1981年
『平石村郷土史』 平石村 1956年
『宇都宮市自然環境基礎調査 報告書（概要版）』
宇都宮市 2011年
『宇都宮文化財マップ 武士の夢が原』 宇都宮市 2010年
「下野新聞」2012年1月8日， 12月12日， 2014年2月12日
Web「宇都宮市ホームページ」→平石地区まちづくり懇談会（平成22年11月）

4 主要施設

（１） 行政機関

ア 行政施設

- ・平石地区市民センター 所在地：下平出町158-1
敷地面積 6,712.50 m²
延床面積 1,486.42 m²
建設費 759,287 千円
駐車台数 130 台

供用開始 H14.6.24

施設

窓口サービス

戸籍や住民異動の届出，各種証明書の発行

印鑑登録，埋火葬許可，国民年金関係

国民健康保険関係 保健と福祉の総合相談 等

平石生涯学習センター（旧平石公民館）

ホール3，学習室2，和室2，調理実習室，

創作室

図書室

明治22年の市町村制施行により，石井村，下平石村，小原新田村，上平出村，柳田村，峰村，上越戸新田村の7か村を合併し，村名を「平石村」とした。村役場は大字下平出144-5，菊池福太郎方に開庁した。

明治36年，大字下平出144-2に役場を移築

昭和25年に平石公民館を設置（所在地：下平出町2,521）

昭和29年8月に宇都宮市との合併により役場は廃止され，宇都宮市平石支所となる。（所在地：下平出町144-2）また，同月に市立平石公民館が設置された。（所在地：下平出町253）

昭和32年に機構改革により支所を「平石出張所」へと名称変更

平成14年6月の「平石地区市民センター」設置にともない，現センターでの出張所・公民館業務を開始した。

※参考資料『市政概要 平成25年度版』宇都宮市議会事務局 2013年
『事務概要 平成26年度』

宇都宮市教育委員会生涯学習課 2014年

『栃木県町村合併誌』第2巻 栃木県 1955年

『栃木県町村合併誌』第3巻上 栃木県 1956年

『宇都宮市史』別巻 宇都宮市 1981年

『宇都宮市公式ウェブサイト』（2014年6月現在）

イ 警察

・平出町駐在所

所在地：376-4

ウ 消防

管轄消防署（常備消防）

- ・ **東消防署** 平成 20 年 4 月 1 日開署

所在地：中今泉 5 丁目 37 番 16 号

業 務

庶務，予防，警防，救急，救助各グループで構成
車 両

消防ポンプ自動車，水そう付消防ポンプ自動車，
小型動力ポンプ付水そう車，はしご付消防自動車，
化学消防ポンプ自動車，救助工作車，支援車，
高規格救急自動車(2 台)，資材輸送車，指揮車，
査察車(2 台)

※平石地区市民センター所管区域のうち東峯町は南消防署の管轄

- ・ **平石分署** 平成 3 年 4 月 1 日開署

所在地：下栗 1 丁目 20 番地 1

業 務

水火災等の警戒防ぎよに関すること。

救急活動に関すること。

消防隊の編成に関すること。

防火対象物及び地水利の調査に関すること。

立ち入り検査及び防火指導に関すること。

所管の機械器具その他営造物等の保守管理に関すること。

災害情報の収集に関すること。

- ・ **消防団 宇都宮市消防団平石分団**

1 分団 13 個部で構成

団員 165 名，小型動力ポンプ付積載車 13 台

各部	車庫所在地	車 両
第 1 部	石井町	小型動力ポンプ付積載車
第 2 部	石井町	小型動力ポンプ付積載車
第 3 部	石井町	小型動力ポンプ付積載車

第4部	石井町	小型動力ポンプ付積載車
第5部	石井町	小型動力ポンプ付積載車
第6部	石井町	小型動力ポンプ付積載車
第7部	石井町	小型動力ポンプ付積載車
第8部	下平出町	小型動力ポンプ付積載車
第9部	柳田町	小型動力ポンプ付積載車
第10部	平出町	小型動力ポンプ付積載車
第11部	平出町	小型動力ポンプ付積載車
第12部	平出町	小型動力ポンプ付積載車
第13部	平出町	小型動力ポンプ付積載車

※参考資料『消防年報 平成26年度版』宇都宮市消防本部 2014年

エ 公園・緑地（街区公園は除く）

	名 称	所在地	種 別	面 積	備 考
1	御幸公園	平出工業団地	地区公園	4.2ha	⇒(6) 体育施設
2	平出工業団地公園	平出工業団地	地区公園	5.1ha	
3	平出工業団地緑地	平出工業団地	都市緑地	23,113㎡	
4	柳田緑地	柳田町	運動公園	24.9ha	⇒(6) 体育施設
5	越戸北緑地	平出工業団地	緑道	2,926㎡	

・緑の相談所・都市緑化植物園

所在地：平出工業団地 30-1

（平出工業団地公園 5.1ha の内 2.5ha 部分）

開 設 昭和 56 年 5 月 1 日

施設概要

緑の相談所 木造平屋建：302㎡
 相談室（事務室兼用）：55㎡
 講習室：73㎡，展示室：46㎡
 図書室，作業室等

都市緑化植物園 見本園：6,000㎡
 見本庭園：1,100㎡

水生植物園：450 m²

自然樹林：8,000 m²

※参考資料『公園一覧（平成26年3月31日現在）』

宇都宮市公式ウェブサイトより

『市政概要 平成25年度版』

宇都宮市議会事務局 2013年

『うつのみやみどりのマップ』宇都宮市 2008年

『公園まっぷ』ウェブサイト <http://park.publicmap.jp/>

オ 保健施設

・ **県央家畜保健衛生所** 所在地：平出工業団地6-8

沿革 昭和24年7月 栃木県宇都宮家畜保健所として、栃木県家畜衛生試験所と共に埴田町県庁構内に設置。

昭和26年3月 両所を合併し、栃木県中央家畜保健衛生所と改称。

昭和39年4月 戸祭に新築移転。同時に地方機関として栃木県家畜衛生研究所を同一建物内に設置。

昭和41年4月 機構改革により七井及び鹿沼家畜保健衛生所を統合し、両所を出張所として、再び栃木県宇都宮家畜保健衛生所と改称。

平成11年1月 栃木県宇都宮家畜保健衛生所及び栃木県家畜衛生研究所を現在地に新築移転。

平成12年4月 県の組織再編により、栃木県宇都宮家畜保健衛生所、栃木県氏家家畜保健衛生所並びに栃木県家畜衛生研究所を再編整備し、栃木県氏家家畜保健衛生所管内の一部を統合して栃木県県央家畜保健衛生所となる。

敷地面積 5,600 m²

施設概要 本館 : 1,752 m² (RC2階建て)

事務室, 実習室, 研修室, 生化学検査室,

臨床検査室，細菌検査室，病理検査室，
免疫遺伝検査室，ウイルス検査室，
衛生相談室 等

解剖室 : 56 m²

動物用焼却炉：焼却能力 190kg/h 800℃

実験動物舎： 50 m²

車庫・倉庫：166.2 m²

業務内容 家畜の保健衛生のために必要な検査や調査研究，家畜伝染病の防疫や病性鑑定，獣医師や動物用医薬品関連業者への指導など。

管轄区域 宇都宮市，上三川町，鹿沼市，日光市，真岡市，益子町，茂木町，市貝町，芳賀町，矢板市，さくら市，塩谷町，高根沢町（6市7町）

※参考資料『栃木県ホームページ』（2014年9月24日確認）

<http://www.pref.tochigi.lg.jp/g66/>

（2）教育施設

ア 小学校 ※学級数，児童数は平成25年5月1日現在

・平石中央小学校 所在地：下平出町 479

学級数：6 児童数：75

明治7年 志学舎と称して，普門寺跡に創立。

明治23年 廃校。

明治25年 移築，開校して平石第二尋常小学校となる。

明治33年 高等小学校を合併し，平石第二尋常高等小学校と改称。

昭和16年 平石村中央国民学校と改名。

昭和22年 平石村立中央小学校に改称。

昭和29年 宇都宮市立平石中央小学校に改称。

昭和56年 学区変更

・平石北小学校 所在地：平出町 1804

学級数：7 児童数：192

明治19年 精糧舎と関柳舎と合併し，現在校の南側に校舎を建て，上平出小学校とした。

明治 26 年 現在地に移転，平石第三尋常小学校と改称。

昭和 16 年 平石村北国民学校と改称。

昭和 22 年 平石村北小学校と改称。

昭和 29 年 宇都宮市平石北小学校と改称。

イ 中学校 ※学級数，生徒数は平成 25 年 5 月 1 日現在

- ・ **鬼怒中学校** 所在地：平出町 3764-10

学級数：22 生徒数：641

昭和 56 年創立。

ウ 幼稚園

- ・ **平出幼稚園** 所在地：平出町 267-1

学級数：9 学級

(年長 3 学級 年中 3 学級 年少 3 学級)

園児数：270 名

- ・ **平出むつみ幼稚園** 所在地：平出町 22-1

学級数：6 学級

(年長 2 学級 年中 2 学級 年少 2 学級

満 3 歳児年少組を含む)

園児数：127 名

※参考資料『一般社団法人栃木県幼稚園連合会ホームページ』

(平成 26 年 8 月 3 日現在の掲載情報)

エ その他の学校

- ・ **I F C 調理師専門学校** 所在地：平出町 3580-3

- ・ **I F C 栄養専門学校** 所在地：平出町 3580-5

- ・ **I F C 製菓専門学校** 所在地：平出町 3579

※参考資料『教育要覧 平成 25 年度』宇都宮市教育委員会 2013 年

『全国学校総覧 2013 年版』原書房 2012 年

『風土の中の栃木県校歌集 上巻・小学校編』

栃木県連合教育会 1987年
『風土の中の栃木県校歌集 下巻・中・高・大編』
栃木県連合教育会 1988年
『栃木県教育史 第三巻』
栃木県教育史編さん委員会 1986年

(3) 医療機関

ア 病院

	名 称	所在地	診療科目
1	宇都宮東病院	平出町 368-8	内科，皮膚科，眼科，精神科，放射線科

イ 診療所

	名 称	所在地	診療科目
1	鈴木皮フ泌尿科クリニック	柳田町 1284-1	内科，小児科，皮膚科，泌尿器科，性病科
2	特別養護老人ホーム高砂荘 医務室	平出町 1510-1	内科
3	平出クリニック	平出町 2777-1	内科，小児科
4	平出整形外科医院	下平出町 639-1	リウマチ科，外科， 整形外科，リハビリテーション科
5	四葉みみ・はな・のどクリニック	平出町 400-8	耳鼻咽喉科，アレルギー科

ウ 歯科診療所

	名 称	所在地	診療科目
1	長谷川歯科医院	下平出町 899-10	歯科
2	屋代歯科医院	平出町 347-1	歯科

※参考資料『栃木県病院・診療所名簿 平成26年度』

栃木県保健福祉部医事厚生課 2014年

(4) 社会福祉施設

ア 老人福祉施設

(7) 居宅介護支援（居住サービス計画作成・ケアマネジャー）

	名 称	所在地
1	居宅介護支援事業所 ふきのとう	下平出町253-7
2	宇都宮東介護相談センター	平出町 413
3	居宅介護支援事業所 キガ	平出町 1044-1
4	飯田福祉会 高砂荘	平出町 1510-1
5	ハートフルサポートとちぎ	柳田町 1771-1

(イ) 訪問介護（ホームヘルプサービス）

	名 称	所在地
1	宇都宮東ヘルパーステーション	平出町 413
2	ヘルパーステーション キガ	平出町 1043-3
3	トレモンテケアサービス	平出町 4066-46
4	ハートフルサポートとちぎ	柳田町 1771-1

(ウ) 訪問看護

	名 称	所在地
1	曙 訪問看護ステーション	平出町 413

(エ) 通所介護〔療養通所介護含む〕（デイサービス）

	名 称	所在地
1	デイサービスセンター むつみ	下平出町 906-1
2	ハートフルサポートとちぎデイサービス	平出町 360-8
3	飯田福祉会 高砂荘	平出町 1510-1

(オ) 通所リハビリテーション（デイケア）

	名 称	所在地
1	老人保健施設 宇都宮シルバーホーム	平出町 413

(カ) 短期入所生活介護（ショートステイ）

	名 称	所在地
1	飯田福祉会 高砂荘	平出町 1510-1

(キ) 短期入所療養介護（ショートステイ）

	名 称	所在地
1	宇都宮東病院	平出町 368-8
2	老人保健施設 宇都宮シルバーホーム	平出町 413

(ク) 認知症対応型共同生活介護（グループホーム）

	名 称	所在地
1	グループホーム 宇都宮	平出町 377-1
2	グループホーム 菜の花園	平出町 1666-1

(ケ) 認知症対応型通所介護

	名 称	所在地
1	ハートフルサポートとちぎ	柳田町 1771-1

(コ) 小規模多機能型居宅介護

	名 称	所在地
1	多機能ホーム 菜の花	平出町 1666-1

(サ) 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）

	名 称	所在地
1	特別養護老人ホーム 高砂荘	平出町 1510-1
2	特別養護老人ホーム 高砂荘新館	平出町 1510-1

(シ) 介護老人保健施設

	名 称	所在地
1	老人保健施設 宇都宮シルバーホーム	平出町 413

(ス) 介護療養型医療施設

	名 称	所在地
1	宇都宮東病院	平出町 368-8

(セ) 福祉用具貸与

	名 称	所在地
1	株式会社キガ	平出町 1044-1

(ソ) 福祉用具販売

	名 称	所在地
1	株式会社キガ	平出町 1044-1

※参考資料『介護サービス事業所等一覧』宇都宮市公式WEBサイトより

イ 保育施設

(フ) 子どもの家・宮っ子ステーション

	小学校名	名称（愛称）	施設の場所
1	平石北小	平石北小子どもの家 (モンキーポットクラブ)	校舎中央 1 階
2	平石中央小	平石中央宮っ子ステーション (りんごの木)	生活科室

※参考資料『事務概要 平成26年度』

宇都宮市教育委員会生涯学習課 2014年

(5) 金融機関等

ア 郵便局

	名 称	所在地
--	-----	-----

1	平出郵便局	平出町 267-7
---	-------	-----------

イ 銀行

	名 称	所在地
1	足利銀行カインズホーム宇都宮平出店 (A T M)	平出町字上野 3711 (カインズ ホーム宇都宮平出店店内)

ウ JAバンク

	名 称	所在地
1	JA うつのみや平石支所	平出町 1769 - 3

※参考資料 各ホームページ『日本全国銀行・A T Mマップ』
各銀行等・日本郵政

(6) 体育施設

・柳田緑地 所在地：柳田町字屋敷東右岸

敷地面積 249,000 m²
施設概要 野球場 5 面
サッカー場 1 面
ソフトボール場 4 面

・御幸公園野球場 所在地：平出工業団地 13-1

敷地面積 41,410 m²
施設概要 野球場 1 面

・宇都宮工業団地管理センター体育館

所在地：平出工業団地 38-11

竣 工 昭和 47 年 7 月 12 日
施設概要 鉄筋コンクリート 2 階建 1306.4 m²
1 階 スポーツフロア
バレーボール 2 面
バスケットボール 1 面
バドミントン 4 面
卓球台 13 台

2階 準備室

※参考資料『市政概要 平成25年度版』

宇都宮市議会事務局 2013年

『教育要覧 平成25年度版』

宇都宮市教育委員会 2013年

『宇都宮スポーツナビ』ホームページ (H26.9.9 確認)

<http://www.utsunomiya-sponavi.or.jp/>

『(社)宇都宮工業団地総合管理協会ホームページ』

(H26.9.11 確認)

<http://www14.ocn.ne.jp/~ukdanchi/>

5 まつり・行事

	行事名（場所）	実施時期・特徴
1	天祭（天念仏，天道念仏とも） 公民館（柳田町）	時期は8月。鬼怒川の氾濫のときに流れてきた材木で天棚を製作したといわれる。センドの際，行人（天祭の中心となって行事を進める人）を担ぎ上げて回ることが行われていたが，現在の詳細は不明。（柳田町下柳田）
2	例祭 各神社	9月，10月，11月，3月など。 柳田町の稲荷神社では10月10日に相撲大会が行われる。
3	例祭 平出神社（旧称雷電神社） （平出町）	旧2月23日，旧10月23日（太々神楽） 旧6月23日（梵天祭り） 2月24日（祈念祭） 11月15日（七五三祭） 12月30日（大祓祭） 旧3月15日（小祭） 3月20日（嵐除祈禱祭）

4	梵天祭り 平出神社（旧称雷電神社） （平出町）	時期は7月第4日曜日。（旧6月23日） 享和2（1802）年，光格天皇の臣下が巡行のときに雷雨にあい，雷電神社に参拝し道中安全と農民安泰の祈願をされたという伝。梵天の房は麻とカンピョウ，和紙などで作られたが，現在はビニルテープで作られている。各家庭では赤飯や餅で祝う。
5	太々神楽 平出神社（旧称雷電神社） （平出町）	時期は旧2月23日，旧10月23日。 終日太々神楽を催し参拝旁ら楽しむ。 古来より伝統的に行われている。
6	演芸行事 平出神社（旧称雷電神社） （平出町）	時期は旧6月22日。地域の老若男女による演芸が開かれ終日楽しめる。
7	百味祭（ヒヤクミ） 諏訪神社・公民館（柳田町）	時期は旧7月27日。
8	三峯講 中平出公民館	時期は2月18，19日。頭屋・宮座などの組織による行事。
9	八幡さま 八幡神社（平出町）	時期は11月クンチ祭にあわせる。
10	まるめど	時期は12月15日。 村連合の祭り・行事。
11	金勢さま 稻荷神社（金勢神社）	時期は3月7日。
12	天王祭りとお杉さま 諏訪神社（柳田町）	時期は6月20日，10月27日。
13	金井すもう（稻荷神社のすもう）	時期は10月第1日曜日。若者入り・成人祝いなどを目的とする。
14	地蔵さま 各公民館	時期は1月24日，8月24日。

15	権現様 山下地区	時期は3月19日, 11月19日。自然現象に対する祈願を目的とする。
16	水神祭(水神さま)	時期は旧7月26日。生業にかかわるカミに対する祭り・行事。

※参考資料『平石村郷土史』平石村 1956年

『宇都宮の歴史』落合書店 1979年

『関東地方の祭り・行事1』海路書院 2008年

『宇都宮市屋台・天棚等調査報告書』

宇都宮市教育委員会文化課 1998年

『宇都宮の祭りと芸能』

宇都宮市教育委員会社会教育課 1984年

『栃木県神社史』栃木県神社庁 1964年

6 文化財

	分野 指定区分	名称・所在地	特徴
1	有形文化財 (市指定)	木造文殊菩薩坐像 (平出町)	江戸時代の寄木法によって製作された。右手に智剣, 左手に経巻を持した坐像で独尊形となっている。
2	天然記念物 (市指定)	広琳寺のシダレザクラ (平出町)	推定樹齢約200年。樹冠が傘形で盆栽のように見事な枝ぶりの大樹。
3	天然記念物 (市指定)	クロコムラサキおよびその生息地 (柳田町)	柳田緑地内。タテハチョウ科のコムラサキの中に遺伝的にあらわれる黒色型。産地はごく局限される。

※参考資料『宇都宮の文化財』宇都宮市教育委員会 1981年

7 産 業

- ・柳田町付近一帯は準低湿地沖積土であって, その西方の岡本に通ずる道路西側は乾燥低地沖積土, その西側九郷半用水両側は乾燥低地沖積土細粒埴壤土である。その他はおおむね乾燥火山灰土細粒黒褐色埴壤土に属している。
- ・東部水田地域(平石地区)は, 鬼怒川の西側に広がる水田地域で, 大規模な稲作が行われている。

- ・観光交流課農村交流グループの、農村地域活性化の取り組みである、地区むらづくりの推進のため、農業祭（農産物即売会、綿あめ、もちつき大会等）、婦人健康教室、農産物直売所の視察などが行われている。
- ・土地利用 地域の東側にある鬼怒川沿いに農用地が広がり、西側は市街化区域であり、平出工業団地も立地する。
農地率は35%であり、河内、上河内地域に次いで市内では最も高い比率である。また、水田率も92%と高い地域である。圃場整備もほぼ完了しており、区画の整理された農用地が広がっている。中心部には東部カントリーエレベーターがあり、米麦の生産に力点を置いている。
- ・農家数 稲作農家率は79%と市内で2番目に高く、麦作農家数も64農家と多く、稲作からの転作も進んでいる地域である。
- ・認定農業者数 42（Ⅰ型 25、Ⅱ型 13、Ⅲ型 4）平均年齢：60.24 歳
[特産物]（平成14年度宇都宮農協部会しらべ）
 - ・きゅうり（市内1位、13戸311a）・ブロッコリー（市内1位、6戸140a）
 - ・梨（市内3位、21戸25ha）・ユリ（市内1位、5戸151a）

農業関係統計

（平成22年2月1日現在）

地区	農家戸数	農業従事者	1戸あたり経営面積	
平石	486戸	1,129人	152.4a	
全市	6,141戸	13,779人	170.5a	
経営耕地				
地区	総数	田	樹園地	畑
平石	74,047	67,815	2,412	3,820
全市	1,046,929	903,059	38,255	105,615

資料：政策審議室（世界農林業センサス、農業センサス結果）

○宇都宮工業団地（平出工業団地）

- ・事業主体 宇都宮市市街地開発組合
- ・造成年度 昭和35年度～昭和41年度
- ・事業費 3,244,608千円
- ・用途指定 工業専用地域（昭和35.10.27指定）
- ・面積 3,041,000㎡（工業用地2,431,000㎡、道路253,000㎡、公園104,000㎡、緑地161,000㎡、その他92,000㎡）
- ・立地企業 116社（平成26年7月24日現在）
- ・従業員数 5,952人
（平成22年 従業員数4人以上の事業所）
- ・製造品出荷額等 445,979百万円

(平成 22 年 従業員数 4 人以上の事業所)

・ 共同利用施設

ア 管理センター

竣工 昭和 47 年 7 月 12 日

概要 鉄筋コンクリート 2 階建 506.25 m²

1 階 事務室・応接室・歯科診療所

2 階 大会議室 (60 名)

小会議室 (18 名)

イ 体育館 ⇒(6) 体育施設参照

ウ 排水共同処理場

所在地：宇都宮市平出工業団地 44-7

敷地面積 10,399 m²

竣工 昭和 52 年 3 月

管理運営 宇都宮市

集水方式 合流式

処理方式 物理化学処理

(除塵沈砂＋凝集沈殿＋砂ろ過＋活性炭吸着)

処理水量 晴天時：30,000 m³/日

雨天時：72,000 m³/日

放流量 農業用水路：11,500 m³/日 (晴天時)

都市下水路：18,500 m³/日 (晴天時) 60,500 m³/日 (雨天時)

流入水質 BOD：30ppm (最大 60ppm)

SS：30ppm (最大 60ppm)

放流水質 BOD：5ppm

SS：5ppm

場外搬出汚泥 含水率 15%以下 (脱水＋乾燥処理)

※参考資料『市政概要 平成 25 年度版』

宇都宮市議会事務局 2013 年

『(社) 宇都宮工業団地総合管理協会ホームページ』

(H26.9.11 確認)

<http://www14.ocn.ne.jp/~ukdanchi/>

工業関係統計

(平成 24 年 12 月 31 日現在。単位：百万円)

地区	事業所数	従業者数	製造品出荷額	付加価値額	資産投資額
平石	39	1,198 人	11,129	6,110	131

全市	553	30,226人	1,497,105	457,882	45,446
----	-----	---------	-----------	---------	--------

資料：政策審議室（工業統計調査結果）

商業関係統計

（平成19年6月1日現在。単位：百万円）

地区	事業所数	従業者数	年間販売額	売り場面積
平石	446	5,596人	416,469	78,552 m ²
全市	5,901	50,129人	2,835,926	750,288 m ²

資料：政策審議室（商業統計調査結果）

業種別団体

名称	所在地	摘要
栃木県コンクリート圧送工業組合	平出工業団地43-87	生コンクリート製造業

※参考資料『宇都宮市史』宇都宮市

『宇都宮市食料・農業・農村基本計画』宇都宮市 2004年

『宇都宮の工業 平成13年度・14年度合併号』宇都宮市

2002年

Web「宇都宮市立平石北小学校」ホームページ

「宇都宮市ホームページ」→「第2次宇都宮市食料・農業・農村基本計画～「農業王国うつのみや」の実現に向けて～」

「社団法人宇都宮工業団地総合管理協会」ホームページ

「宇都宮市統計データバンク」→「総合統計」

8 交通

- ・奈良時代は、衣川駅家（きぬかはのうまや）として交通、交易の中心地帯で、宇都宮よりも賑わっていた。徳川幕府時代は、宇都宮および近村の荷物の集散が、川を中心に行われ、特に下柳田は道場宿を経て、旧水戸街道に通ずる鬼怒川の渡船場として相当に栄えた。
- ・国県道は縦横にその上村道を完備しておれば交通に便利にして貨物の集散活発となった。
- ・村道（上平出宇都宮線）平出神社前通りは屈曲甚だしく昔から村道中最もさびしい道路で追剥等^{おいはぎ}多き街道であった。
- ・石井街道（県道宇都宮水戸線旧名水戸北街道）は明治初年頃までは現在の石井旧道が水戸北街道の本街道で下川岸を経て大島へ通っていた。
- ・県道（下桑島、白沢線）県道下桑島白沢線（昔から辰街道と云う）とは平

石村を南北に貫く県道であって元は屈曲甚だしくあだかも蛇のノダクルようであり、道幅も六尺から九尺位であったが昭和七年現在の道幅三間として福島から役場裏まで改修した。

・宇都宮テクノ街道（新鬼怒川渡河道路）

鬼怒川の東岸には清原工業団地、芳賀工業団地等多くの工業団地があり、宇都宮市街地からの通勤者で、柳田大橋（鬼怒通り）、新鬼怒橋（水戸街道）などの鬼怒川に架かる橋や、周辺の道路が大渋滞していた。その対策として、新4号バイパス平出街道交差点から芳賀高根沢工業団地入口まで延長約7kmの区域に新たな道路を整備することにより、鬼怒川を東西に結ぶ交通網を充実させ、地域の利便性向上に寄与し、産業・経済の発展を目指している。

主要地方道 宇都宮向田線のうち新鬼怒川渡河道路は、将来道路網体系図にあるとおり、宇都宮市街地と鬼怒川左岸地域を連結する東西交通軸として位置づけられている。

また、宇都宮市東部地域や鬼怒川左岸地域には大規模な工業団地が立地しており、3.5万人もの人が就業している。さらに宇都宮テクノポリスセンター地区の整備が進められる中、この地域には鬼怒川を渡河する橋梁が3橋しかなく、朝夕を中心に深刻な渋滞が発生しており、新鬼怒川渡河道路の整備が急務となっている。

（出典：Web「栃木県ホームページ」→「宇都宮土木事務所」→「宇都宮テクノ街道のページ」）

主要路線の交通量 (平成22年9月から11月までの任意の日)

路線名	観測地点	自動車類交通量	増加率(平成17年比)
宇都宮向田線	柳田町1277-1	32,859	-3.85%

資料：国土交通省「平成22年度道路交通センサス一般交通量調査結果」
平日午前7時から午後7時の間の交通量

※参考資料『宇都宮郷土史』1996年

『平石村郷土史』平石村 1956年

Web「栃木県ホームページ」→「宇都宮土木事務所」→「宇都宮テクノ街道のページ」

「宇都宮市統計データバンク」→「総合統計」